

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2021年6月 日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 愛知県小牧市大字本庄字下モ畑665-1 氏 名 リンナイ精機株式会社 代表取締役 梅村武司 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0568-79-1112	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	リンナイ精機株式会社 小牧工場
事業場の所在地	愛知県小牧市大字本庄字下モ畑665-1
計画期間	2021年4月から2022年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	ガス機器石油機器製造業
② 事業の規模	年商142億円
③ 従業員数	536人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2020年度）実績】		別紙3
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・漏水による含油排水量増加の警報装置取付、自動通報 ・水洗浄の廃止による排水処理汚泥の削減 ・分別による最終処分量の低減		
② 計画	【目標】		別紙3
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・鋳造金型の漏水防水防止化（ホース、継ぎ手の変更） ・塗装工程の良品率向上 ・LED化による蛍光管排出の削減		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・金属製品の分解処分による再資源化 ・メーカー引き渡しによる再資源化		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現時点では数量が有意に変化可能な分別案件はない		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2020年度）実績】 別紙4		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 優良認定事業者への委託 ・ サーマルリサイクル業者への委託		

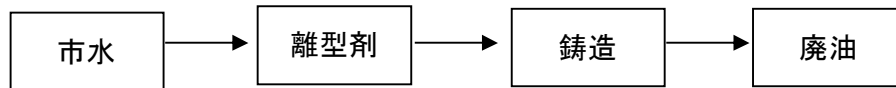
	② 計画	【目標】 別紙4		
		産業廃棄物の種類		
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) ・現時点では数量が有意に変化可能な委託先変更案件はない		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

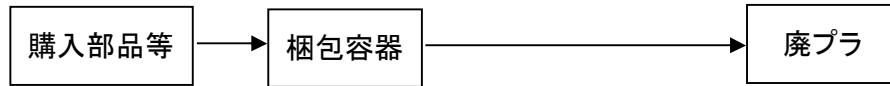
廃油

含油排水



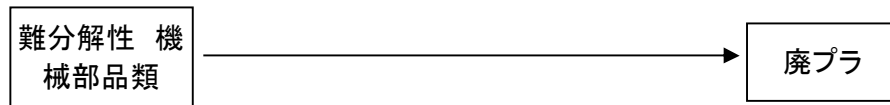
廃プラスチック類

軟質プラ



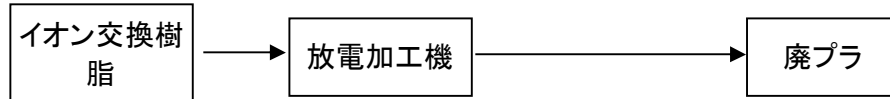
廃プラスチック類

埋立処分



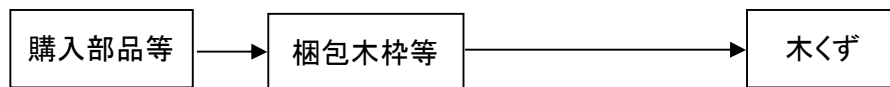
廃プラスチック類

機械部品



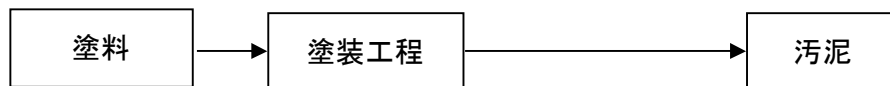
木くず

パレット屑



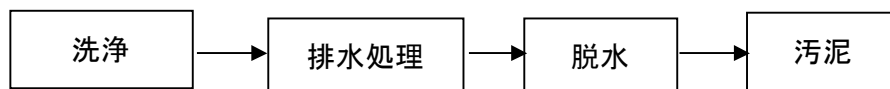
汚泥

塗装汚泥



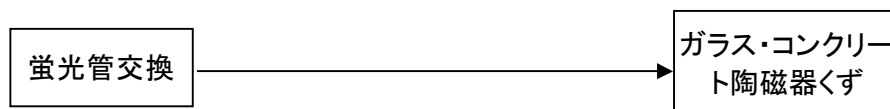
汚泥

排水汚泥



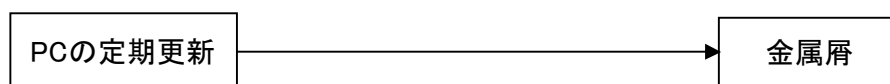
ガラス・コンクリート陶磁器くず

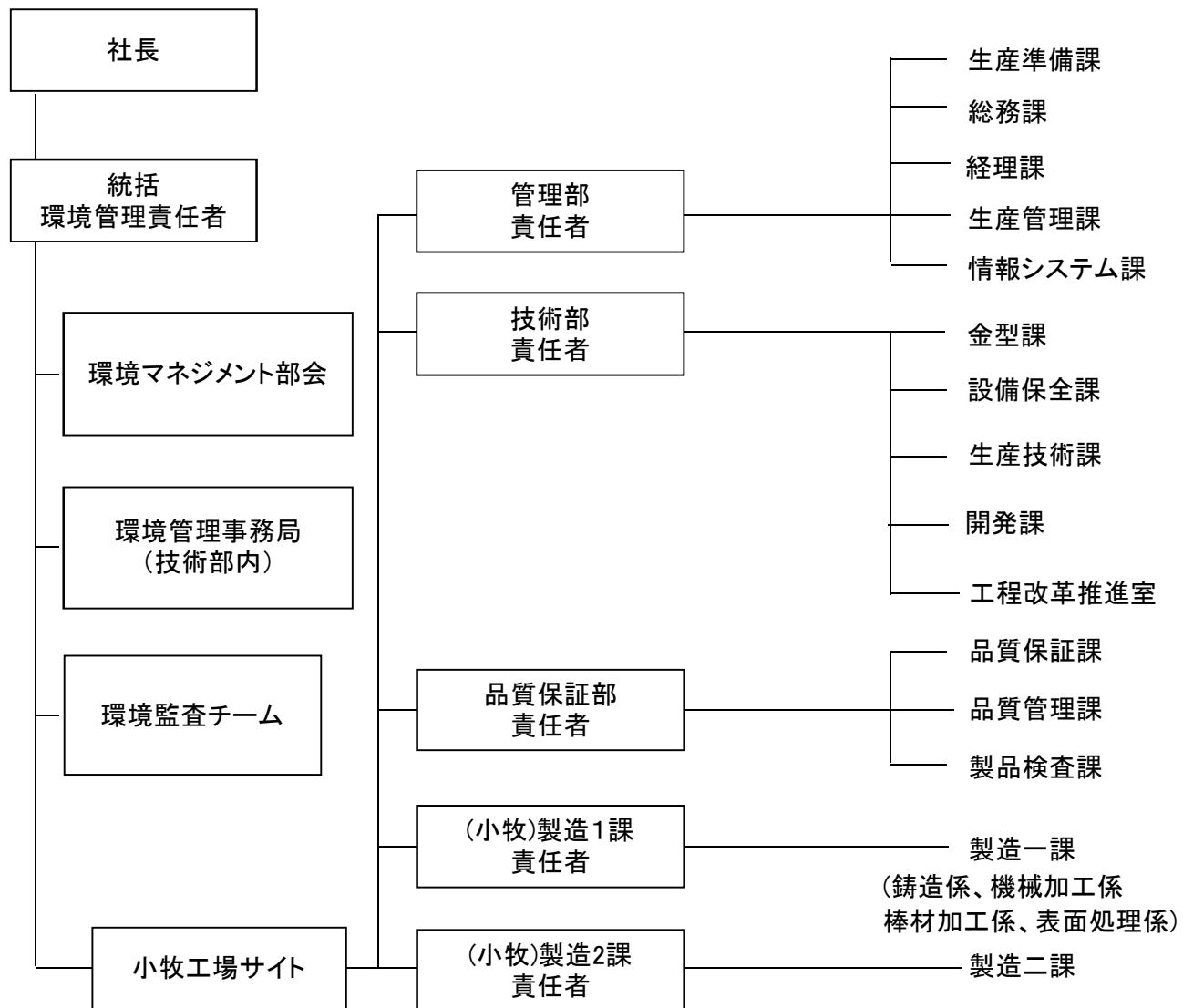
蛍光管



金属くず

廃PC





別紙3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	廃プラスチック類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	汚泥	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	金属くず	合計
	(内容)	含油排水	軟質プラ	埋立処分	機械部品	パレット屑	塗装汚泥	排水汚泥	蛍光管	廃PC	
現状	排出量t	952	128	4.24	0.1	5.5	13.8	7.4	0.2	0.41	1,112
計画	排出量t	923	125	4	0.1	5.5	10	7	0.1	0.4	1,075

別紙4

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]